

## 公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チャイルドウィッシュみらい そとわりでん			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~ 令和7年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日 ~ 令和7年 12月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 27日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「土台型療育」「発達のピラミッド」の考え方を基礎とした子どもたちによりよい支援を行えるよう指導員間で話し合いや検討を重ね、指導員一人一人が療育のプロとして子どもたちに寄り添った支援を実施しています。またより質の高いサービスの提供ができるよう指導員も研修を受け支援力の向上を行っています。	毎月チャイルドグループでの定期的な研修を受け考え方や新しい知識の習得を行っています。また指導員間でアウトプットをする場面やロールプレイをするなどより専門的な支援ができるようにしています。専門支援を実施し、さらに細やかな支援を実施しています。	より幅広い知識や技術を習得していくため今後も学びの場に積極的に参加していきます。
2	職員一人一人がチームとしての意識を持ち、常に連携しあえる風通しの良い職場環境にするための環境づくりを行っています。支援前に職員が子どもになって遊ぶ時間を作ったり支援の中で楽しく関わる姿を見ていたいながら、個々の強みを生かした支援を行っています。	定期的な面談や昼食時のコミュニケーションを通して関係づくりを行っています。また普段の会話の中からお互いの強みやニーズを共有しあい、支援の中でお互いに助け合い高めあえるよう心がけています。またその日の支援の意見交流をし、みんなが同じ方向で支援できるようにしています。	今後も意見を共有しあえる環境づくりをしながら、ミーティングを通して知識や技術の向上に取り組んでいきます。
3	同グループ内の事業所交流をし、子どもたちがより広く経験ができるような機会づくりを行っています。また指導員同士が交換研修を行い、共通した視点や認識の支援ができるよう取り組んでいます。	毎月全事業所で支援ミーティングを行い、事例検討や意見交流をすることで統一した支援の実施ができるようにしています。交換研修の中でお互いの気づき等を共有し事業所の支援の質の向上に取り組んでいます。	今後も交流や研修の場を増やしていくよう計画や相談を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での共生を意識した支援の実施、きょうだいイベントの実施、みらい参観の周知が不十分であった点です。	外出の機会は作っているも直接的な地域の方とのやりとりが少なく交流が難しかったことです。またきょうだいイベントなどの計画、実施が今年内での開催が難しかったことです。	今後も外出等で様々な人と関わる機会づくりをしていきます。また、事業所に通っているお子様のご兄弟や保護者の方が参加できるようなイベントを考え、実施していきます。
2	毎月のお茶会は開催していましたが、現状平日のみの開催で参加が難しい保護者様の交流の場などの直接的な支援が足りていなかった点です。	平日の開催を行い、おたよりも発信していましたが会の開催までは至っていなかったことです。	できるだけ多くの保護者様が参加できるようお茶会の開催の日程や内容を工夫しながら交流の場を作っていきます。
3			